

平成28年度 第3回 博物館協議会 抄録 (web版)

市民憲章唱和

1 あいさつ

2 協議事項

I 平成28年度開催済事業

委員	博物館が寄贈を受けた資料を、現在制作中の「今村の歴史」でも使用することを期待していたのですが、所有者が亡くなって一ヵ月後にお願いにあがったところすべて処分したとのことでした。博物館が寄贈を受けることは問題ないのですが、できれば地元の町内会に声をかけてもらいたかったです。地元は地元で地域の資料を使いたいと思っており、担当者の方が嘆いていました。今後もこのような事が起こる可能性があるので、その場合には、ご遺族の方に町内会への連絡することを伝えていただけないでしょうか。町内会で地元の資料を保存していくということにも繋がるので今後同じようなことが起こった際には注意してもらえるとありがたいです。
事務局	ぜひご提案どおり注意していきたいと思います。ご指摘ありがとうございました。
委員	伊藤若冲展の際は非常に盛況であり、開館以来の賑わいかと思えました。指定管理者が雨の日の土日でも駐車場で誘導をしていました。その点は非常に感心しましたし、そのおかげで皆さんが気持ちよく参加できたのかと思います。 もう一点ですが、11月19日に安祥文化のさとまつりがあり、355という数字があるのですが、それは展示に入った人の数なのか、どういう数字なのか教えてください。さとまつり開催時間中の小中学生の展示やサークルの展示に入った人数は毎日カウントしているのですが、その数字はギャラリーの方でしか見ることができないのでしょうか。
事務局	資料の数字はSATOマルシェだけの参加者数です。さとまつりの報告は資料後方にあるのですが、延べ人数としては約2万人の参加であります。
指定管理者	屋外のテントで開催した事業に参加した方の数です。
委員	体験講座の申し込みの表示を明確にさせていただきたいです。また、会場の都合もあり参加できる人数が少ないようですので、午前・午後に分けて開催するなどもう少し人数を増やしてほしいと思います。
指定管理者	広報あんじょうに掲載している情報については、申し込み期日のルールは、広報のルールにのっとり掲載しています。ただ、和の文化を感じられる講座は、アンケートでも非常にリクエストが多く、好評であるので、そういった講座についてはご提案していただいたように、午前・午後に分けて2講座開催し、定員を増やすことや、今後は人気のありそうなものについては電話ではなく、抽選対応にするなど検討材料かと思えます。
委員	ありがとうございます。
委員	刊行物の件で、今年は指定管理が印刷したということでしたが、今年度は印刷部数が多くなっているようですが、指定管理に印刷を依頼しているということは、損得は指定管理者持ちということでしょうか。

事務局	<p>そのとおりです。金額算定の仕方としては、過去3年間の平均値数を印刷できる指定管理料をつけており、状況を見ながらその中で印刷をお願いしています。その平均値どおりになると思いますし、多くなるようでしたら、それは次の指定管理期間には反映されていくかと思います。</p>
指定管理者	<p>ここには載っていないのですが、若冲展のチラシについては仕様書の数よりも2回にわたり増版をしており、想定数よりも多い枚数印刷をかけています。本多展のチラシに関しても若冲展の頃から宣伝をしていたため、総定数は配布し終えてしまい、増刷しています。また、刊行物の中では、催し物案内も若冲展の際になくなってしまい3000部増刷しています。非常に多くの方は来館されて、来館された方に印刷物がないということはないようにしております。</p>
事務局	<p>今の話を補足しますと、指定管理制度では、過去数年の平均程度の来館者が望めるということで収入予算を計上しています。今回はかなり入館料が増えておりましてその分は指定管理者の収入となります。指定管理者が頑張って来館者を増やせば増やすほど収入が増えるということがこの制度のよい所です。</p>
事務局	<p>もう少し補足しますと、当館は入館料が安いので申し訳ないと思っております。</p>
事務局	<p>ちなみに、入館料を上げてはどうかという意見もあり、条例の範囲内で1,000円まであげることができるので状況を見ながら上げていけば、収入増になるのでそのようにしてもらえば良いと思います。</p>
事務局	<p>単に料金を上げればいいのではなく、上げるなら魅力がないといけないので、上げて喜ばれるような魅力のある展示を行っていけば、全体にいいものを見ることができるようになるのではないのでしょうか。いままで市は300円の予算でやれることをとということで小規模な企画になっていましたが、これからはもう少しフレキシブルになるのではないのでしょうか。そのために、またこの会議で色々相談があるので、温かい目で見ていただくと自由にできるのではないかと思います。</p>
委員	<p>高くすることがいいのではないですが、安いと周囲にそのように評価されてしまうので、展示によっては変動があってもいいのではないのでしょうか。ただ、儲け第一にしては欲しくないと思います。</p>
委員	<p>若冲の展示の入館者については、安城市内だけでなく、市外の初めて来館される方にも多かったと思います。そこで催し物案内に配布することができて今後に繋げることができたと思いますので、安い観覧料で多くの人に足を運んでもらい、博物館のよさを知ってもらうことも大切なのではないのでしょうか。若冲展の際はいつ来てもミュージアムショップなどに多くの方がいましたが市外の方はどれくらいいたのでしょうか。</p>
指定管理者	<p>来館者の半数が利用された音声ガイドでの割合になりますが、音声ガイド利用者の約3割が市内の方でした。西三河というエリアで見ますと、入館者の約半数が西三河のエリアから来館されていました。大変の多くの方が、西三河など近隣から来館されたということを感じております。県内の方が2割弱ということで、少ない数ではありますが県外の方も来館されています。また、前期・後期の展示替があったことからリピーターの方が非常に多かったです。入館料が安いので2回きてもいいという方が非常に多く、両方の期間に足を運んでくださった方が非常に多かったです。</p>

委員	入館料の件ですが、昨年の秋頃に、碧南市の藤井達吉美術館に出かけたのですが、入館料が900円で高いなと思ったのですが、それに匹敵する見ごたえがありました。展示がよければ値段が高くていいので、300円均一にこだわらなくてもいいと思います。
委員	資料を借用する施設が、安城市歴史博物館の入館料が300円であるので、それなりの資料しか貸さないということはあるのでしょうか。
事務局	そのようなことはありません。
委員	刊行物の件ですが、特別展「まねる うつす つたえる」の際の館内で無料で配布されていた聖徳太子絵伝の解説書はとても分かりやすかったと思います。
事務局	聖徳太子絵伝のパンフレットは実は、こちらの博物館で作ったものではなく名古屋大学の科研費で作っていただいたものです。名古屋大学の阿部教授の研究室ではこれまで3冊ほど同様のパンフレットを作成しており、安城市で展示を開催するにあたり原稿の執筆は当館で行ったのですが、印刷会社の手配や印刷代などすべて名古屋大学で作っていただいたのです。
指定管理者	来館者からの評判もよく、展示を見られたあとパンフレットのみ取りにみえた方もいました。
委員	国民文化祭は今年もあるのですか。
事務局	今年は奈良で開催します。12月3日でフィナーレなのでそれで終わりです。
事務局	国民文化祭は、国民体育大会のように全国の県を持ち回りで行っていくものです。
委員	常設展の観覧者は小中学生が多いと思うのですが、一般の観覧者はどれくらいいるのでしょうか。学校用でではもったいない。もっと安城の方に見てもらいたいです。
事務局	若冲展の際に初めて来館された方は常設展も見てください。企画展・特別展目当てで来館したついでに時間があれば立ち寄ることもありますが、普段は企画展・特別展を見るだけで常設展を見ない方が多いです。そろそろ、開館から25年以上経過したのでどのような方向性になっていくかということですが。開館当時は企画展を見たら必ず常設展も見っていくということでしたが、最近は常設展に立ち寄る方が減ってきています。
指定管理者	特別展であれば、観覧券に常設展のチケットも含まれていまして、12月の若冲の展示の際は、入館者7500人に対して、常設展入館者が2800人ということになっております。今年度は館長にお願いした歴博講座で安城の歴史を解説していただき、少しでも常設展に足を運んでいただくようなきっかけや、常設展について詳しい方を草の根的に増やしていくようにして常設展の来館者を増やす取り組みを行っていきたいです。
委員	歴博には常設展もあり、安城の歴史を学ぶことができるということをPRしていったらどうでしょうか。
指定管理者	今後も来館が多く見込みのある展示の際はPRを強化していき、そうでない時期もPRをしていきたいと思っています。
委員	今日、久しぶりに常設展を観覧したのですがよかったですよ。これは宣伝をしたいと思っていますし、もう少し入り口の表示などを明確にした方がいいのではないのでしょうか。
委員	観覧券の中に常設展の場所も含めて記載してはどうですか。

委員	特別展・企画展をみるとそれだけで疲れてしまいます。常設展は別の日でもいいですよといわれると安心するのですが、別の日に来た人はいるのですか？
指定管理者	若冲展の際は、市内の方であれば後日常設展だけ見に来たという方が数名いました。
委員	9月に見学学習で企画展を来館した際に、他の学校2年生の子供が企画展を見ていたのですが、係員の方が、「ケースに触らないで」「ガラスに顔をつけてはだめ」とずっと言っていました。子供たちはそんなことはしないのに。また、音声ガイドの耳のマークですが、子供から見ると耳を近づけると音が聞こえるとみんな思うようです。変更しろとはいいませんが。
事務局	子供は想像力が高いのですね。どのようにしたらいいか持ち帰らせていただきます。

II 平成28年度開催予定事業

委員	3月12日の写生大会は屋内・屋外どちらで開催するのでしょうか？時間は決まっているのでしょうか？子供が多く参加するのが想像できるのですが、参加後の絵の具の片付けなどは現地で行うのでしょうか、家で行うのでしょうか？絵の具を現地で洗うと洗い場が非常に混雑するのと、水滴などが飛び散るのが心配です。
指定管理者	屋外です。時間は午前10時～開始の予定です。写生大会は子供対象です。今回は写生大会だけでなく懐かしの車を展示するので見に来て楽しんでいただくこともできます。当日突然来た方にも対応できるようにしてあります。
指定管理者	詳細は次の広報（3月1日号）で掲載することになっております。
委員	イベント「本多正信があこがれた利休の茶会」ですが、午前10時～午後3時となっているのですが、これは来た人から順番に20人程度入っていただいて茶会をするのか、午前10時～午後3時まで通しでいないといけないのでしょうか。
指定管理者	午前10時～午後3時まで開催し、希望された方を順番に係員がご案内していきます。
指定管理者	利休という名前があり若干の違和感を覚える方もいますが、まだ正式にはお伝えしてありませんがエントランスにて茶器のコレクション展示も行う予定です。正信が生きた時代の茶器を見ていただくというイベントです。本多展とは直接関係ありませんが特別協賛をいただき指定管理者が行います。
委員	エントランスホールで展示するという事は危険ではないのですか。
指定管理者	茶器はすべてケースに入れて、警備員をつけて展示をします。あくまでも関連イベントであり、展示とは関係ないので展示室内に入れることはできませんが、指定管理で適切に管理をしていきます。
委員	北斎展の際は、作品の数が多く、展示室が狭く、見てもすごく窮屈に感じました。ギャラリーと歴博は別の施設ですが、ギャラリーの展示室も利用して、展示室の中にソファなどを配置してゆったり眺める時間を確保していただければ1300円でもいいのではないかと思います。大きな作品展ではギャラリーと一緒にやることはできないのでしょうか。
事務局	来年度の発掘された日本列島展ではギャラリーも使用します。前回の日本列島展でも使用しています。ただ、今回の広重展ではギャラリーの使用も検討したのですが、監修者と

	も協議の上、ストーリー上ギャラリーと会場が離れることは望ましくないということになりました。また、ギャラリーはギャラリーで安美展などの事業を行っておりまして、歴博で年間2回も使用してしまうと一般の方が使用できなくなってしまいます。ギャラリーはリピーターの方が多く1階の展示室は空きがない場合が多いです。ただ、いただいたご意見はもっともだと思いますので、またよろしくをお願いします。
--	---

Ⅲ 平成29年度事業計画

委員	7月の広重展ですが、特別展なので入館料500円なのでしょうか。金額については特に相談せずに指定管理にお任せでいいのでしょうか。
事務局	指定管理と博物館で相談してこの金額としました。色々意見はあったのですが、元々は展示点数約160点が企画展示室には入らないので、前期・後期で若冲展より大規模な展示替をしなければならない可能性があり、出てきた観覧料の形であり、前期・後期通し券で700円というのは指定管理から提案をうけて初めて実施してみようということです。
委員	500円が適正ということでしょうか。
指定管理者	300円の若冲展が安いのではという指摘もあったのですが、来館者から「どうしてこの展示が300円なのか」と指摘をうけることがありました。来館者の方の価格の価値観が読みきれていないこともあります。半期500円・通し券700円ということも選択肢の一つなのではないかと思います。これも一つの試みではないでしょうか。何もやらずしてこれまで300円であったので今後もずっと300円ということではなく、ある程度収益性を上げながら、収益の中でよいサービスを来館者に提供していくということも必要なのではないのでしょうか。
事務局	料金の件はこれまで協議会等で相談せず、前例踏襲で300円でやってきたのですが、ここにきて見直すものですから、この場でご意見いただきながら、最終的には指定管理者が決定事項となっているので、市としては1,000円以下という縛りだけは設けております。
指定管理者	指定管理としては、近隣の施設の入館料なども鑑みて試してみるのであればこの料金でいいかと考えております。前期・後期で展示に大きな変化があるということでして、通し券であればかなり割安になるので、このような事が皆様にどのように受け止められるかということを試してみたいと思います。
委員	全体で160点あって、半分ずつ展示替をするのですか？
事務局	そうではなく、全体に半分ずつ展示替ということではなく、展示にコンセプトがあるので、外してはいけない作品もあります。また、今回は広重の浮世絵の魅力は何かということに見せるということですので、広重版画の構図として欠かせない作品は固定した状態で残りの作品をどう展示替えしていくかということになります。
委員	160点ある資料を半分にするのではなく、前期・後期とも100点の作品があり20点程度の作品を重ねるような形になるのでしょうか？
事務局	展示替方法や作品については現在調整中です。展示リストの全作品を展示できるかどうかについても担当者と監修者とともに現在検討中です。前期・後期というやり方は、これまでは展示替ということでチラシに小さく表記してあって、来館するとお目当ての作品がないということがありました。若冲展の際も内部で危惧しておりました。これまでは明快

	に前期・後期という言い方でやっていた訳ではないので、今回は前期・後期を明確に出すことによって来館者にわかりやすくなり、その中で値段設定をどうするという話の中から出てきたということが実情です。
委員	展示にストーリーを設けてという話ですが、多少ストーリーからずれても、せっかくあるものから見せないというのではなく、数は多く見せたほうがいいのではないのですか。
事務局	そのとおりですね。若冲展の際も、細見美術館はもう少し出せたのですが、あの展示にさらに作品を加えたらコンセプトがわからなくなりましたので今回のような展示になりました。現在の企画展示室の1.5倍から2倍の面積の部屋があって、500円や800円ということになるのですが、安城という地域、現在の展示室の面積、作品数などを考えると300円というイメージがついてしまったところがあります。ただ、若冲についてはもう少し高くてもよかったのではないかという気もします。昔は300円、400円という値段設定で行っており、特別展については400円でありたまに500円という値段設定もなかったわけではないので、今回初めて500円にするということではなく、通し券で700円にするということは穏当であると思います。ただ、蓋を開けてみないとわからないので、こちらにも期待に応えるような、満足度の高い展示にしていきたいです。
委員	やはり、イメージとしては300円ということに通っていたように感じます。ただ、私は高くしたほうが見たいという気持ちになる方もいるので高くすることは問題ないと思います。無料で貸している音声ガイドがあるということを宣伝していただきたいと思います。音声ガイドがあるときに観覧料が値上がりしているとスムーズに行くのではと思います。音声ガイドも使用したということであれば満足はしていただけたと思うので、多くの方に利用していただけるように音声ガイドの宣伝文を書くなど、話をした方がいいのではないかと思います。また、若冲展の際に、「雪中雄鶏図」の展示替を行い、後期は彩色の作品がなくなってしまいとても寂しかったので、今回も重複するのはダメということではなく、よい作品は長く展示していただけたらいいのではないのですか。
委員	北斎展の際は、作品の数が多く、展示室が狭く、見ていてもすごく窮屈に感じました。ギャラリーと歴博は別の施設ですが、ギャラリーの展示室も利用して、展示室の中にソファなどを配置してゆったり眺める時間を確保していただければ1300円でもいいのではないかと思います。大きな作品展では一緒にやることはできないのでしょうか。
事務局	来年度の発掘された日本列島展ではギャラリーも使用します。前回の日本列島展でも使用しています。ただ、今回の広重展ではギャラリーの使用も検討したのですが、監修者とも協議の上、ストーリー上ギャラリーと会場が離れることは望ましくないということになりました。また、ギャラリーはギャラリーで安美展などの事業を行っておりまして、歴博で年間2回も使用してしまうと一般の方が使用できなくなってしまうと思います。ギャラリーはリピーターの方が多く1階の展示室は空きがない場合が多いです。ただ、いただいたご意見はもっともだと思いますので、またよろしくお願いします。

3 その他